





114  
A3638

每歲  
舉行

博覽公會綱領

大正十一年四月  
大隈侯爵奉贈

女主陛下ノ博覽會司一千八百五十一年ノ開會  
 ニ出納ノ過剩アルニ付之ヲ資用トシテ、ニ官  
 許ヲ蒙リ技藝教育ノ方法ヲ增長シ生産ノ學術  
 ヲ隆盛ニスル目的ヲ達セン為委託ノ任ヲ奉シ  
 画像百藝每歲万国公會ヲ設ケンテ決シテ千八  
 百七十一年五月一日プリレスオフウェールス  
 閣下初メテ祭會ノ礼ヲ行ヘリ

十  
分  
自



千八百五十一年ノ博覽會ヨリ二十年ノ間内外  
諸國ニ於テ許多ノ博覽會アリテ其設ルノ制異  
同アリ得失亦一ナラサレハ深クコ、ニ注意シ  
勉メテ實際ノ裨益ヲ達セントス從來ノ博覽會ニ  
ハ徒ニ尋常下品ノ物ヲ集メ其品位賣買ノ品ニ  
優ルモノナク之カ為非常ノ大會トナリ只展覧  
ヲ主トセル持主ニハ莫大ノ税金ヲ被レリ又  
レノ社中ニテ此物彼物ノ功驗ヲ説クノ法大

ニ不都合アルヲ知レリ其展覧セル細別ノ物品  
ヲ同列シ其品位ノ高下ニ自判然之ヲ亦説シ得  
ル程學術智識又ル<sup>レ</sup>ズ<sup>ル</sup>ハ得安カラスカ、ル  
大會中十萬ノ物品混同スレハ見落シモ少カラ  
ス是レ衆人<sup>ノ</sup>為ニ不義ナリ  
千八百五十一年ノ博覽會ニテ物品ヲ配列スル  
本理ヲ決スルレプリンスコソルトノ志願ハ  
國名ヲ以テ分類セハ物ノ品類ヲ以テ之ヲ列ス



ヘシト是レ一新大業ノ亨ニヘ長ク行レサリシ  
 必今年々主陛下ノ博覽會司此儀ヲ承引シ博覽  
 公會ノ始祖モ其志願ヲ遂ケ後未ハ此理追々盛  
 大ニ及フヘシ此法ニテ各國物産ノ比較モ大ニ  
 分明ニシテ展覧ノ知識實用ニ係ル裨益大ナル  
 ヘシ  
 博覽會司此趣意ニ隨ヒ尤ノ議決ニ及ヒ千八百  
 七十一年ノ開會ニ之ヲ施サンコトヲ勉メタリ

毎年ノ開會技藝ハ二三科ニ限ルト雖モ  
 像學術種園ニ係ルモノ毎年許スヘシ  
 右物品ヲ許スニハ検査司ヨク之ヲ檢シ展  
 覧ニ益アルモノ、ミヲ選ムヘシ  
 物ノ品類ヲ以テ配列シ國名ヲ以テセサル  
 一尤モ画像ニ於テハ今年此規則些ノ改正  
 アリタリ  
 物品展覧ノ為之ヲ配列スルニ硝子箱、臺、蒸



氣力等ヲ設クルニ其持主ノ為成ル丈出費  
煩勞ヲ省クヘシ

又エセントアリテ諸物品物ニ自尋問アル  
ニ應答シ以テ持主ノ利害ヲ守ルモノヲ用  
ユルニモ入費ヲ省ク

博覽會ノ教育ニ益アルヲ助ケン為衆人ヲシテ  
ヨク物品ヲ弁別シ自ラ論説シ付ケシメン

編輯シタリ

博覽會司デリ  
法ヲ廢シ又褒賞ヲ与フルハ  
却テ不平ヲ生シ誹謗ヲ招クノ原トナレハ此法  
モ廢セリ會司ノ説ニテハ只入會ノ允許ヲ得ル  
ト競フニ堪ヘタル榮ト思フヘシト也入會ノ物  
品選擇ノ為招聘セル學術多識ノ諸賢刻苦謹慎  
シテ其任ヲ尽セン



アリレスコレソルトヲ頌シ為ニ設ケルルヤル  
アルベルト館ニ付其結構本院ノ内外ニ物品展  
覧ノ為廣大ノ設アリテ今年ノ開會ニハ地方頗  
ル寛濶ニシテルヤルホルチキニラガ  
ンノ西側ニ於テ廣大ノ樓ヲ置キ之ヲ博覧ノ本  
部トシ本院ト相連ス右造営ノ為委任金ノ内ヨ  
リ費スルノ高七万五千ポントナリ外ニ万五千  
ポントノ高ハ會樓ノ諸具箱類其他近傍ノ家室

モ會場ノ一部ニ用ン為之ニ加ヘル造営ト故  
ニ其開場ノ総費永久ノ結構ヲ算テ大約十萬ポ  
ントナリ画像學術發明及ヒ種園ノ諸科千八百  
七十一年開場展覽アリタリ猶向後モ永續スヘ  
シ博覧會司モ布織物陶器及ヒ教育用ノ品ヲ選  
シ以テ其年ノ博覧會ノ製造技藝トス  
會司博覧ノ間ルマルアルベルトホール中ニ樂  
器ヲ列シ之ヲ画像ノ部ニ兼ヌ元來英國ニ於テ



ハ此器ノ教育ニ助アルヲ知ラス外國ニ於テハ  
既ニ其着目アリ英佛独乙伊太里ノ四國ニテ祭  
會ノ日樂器ノ備アリ  
一千八百七十一年博覽會ノ八千以上ノ物器ヲ  
載セル目錄第五月一日布告セリ

千八百七十一年ノ博覽會ヨリ以後ハ度ノ開  
會ニ製造品ヲ展覽ニ供スル順序

但シ改正ヲ加ヘンテ必要ナル所アレハ報知  
アルヘシ

千八百七十三年

絹物及ヒ天鵝絨

鋼鉄及物類

鋼鉄製造類



刃物類

外科用器械

車類

食用ノ物

農産ノ物

塩漬香味飲食調集ノ物

葡萄酒々精麥酒其他飲液及ヒ烟草

飲酒烟草用ノ諸器

料理及ヒ料理法

右一切ヲ運轉セシムル機関

以上ニ用ユル未製ノ物

千八百七十四年

レース手製及ヒ器械製

陸上器械造營建築ノ發明

陸上器械建築結構

養生法裝置



煉石灰製ノ物

草馬具一切

草及ヒ草製造物

馬具

人為發光ノ物瓦斯及ヒ瓦斯製造

製木諸種

右一切ヲ運轉セシムル機關

以上ニ用ユル未製ノ物

千八百七十五年

織物紡物毛纒

量時器類

銅及ヒ黃銅製造

水体運動術及ヒ試驗 水ヲ引ク法

石一切ヲ運轉スル機關

以上ニ用ユル未製ノ物

千八百七十六年



外務省  
宝玉細工物及ヒ偽作物

外國政府ヨリ直様物品ヲ送ル規則

外國政府其年ニ當ル定品ノ國産ヲ博覽ニ  
供センコトヲ願フモノハ毎年十月一日前物品ヲ  
送ル趣ヲ達シ置クヘシ又其諸種物品ノ大  
小等第十二章ノ書体ノ通り書載致シ  
第十二月一日前達スヘシ博覽會司直ニ  
外國ノ願ヲ勘考シ相当ノ地方ヲ分配  
スヘシ

外務省



物品ハ運送料等ナシニ博覽館ニ於テ  
エゼントノ年ニ渡スヘシエゼント之ヲ辦キ  
聞キ其物品ノ狀態ヲ記載シ運送手敷料  
等ヲ記ス

外國ノ工人製作者及ヒ新發明器械製造  
者其政府ノ筋ヲ經スシテ直様罷動府ニ  
送り其事ヲ司ルガ子ヨチノ検査允許ヲ受  
ルヲ通則トス

女王陛下ノ博覽會司其附属ノ吏人ヲシテ  
諸品ノ順序ヲ定メシム其品極テ重大ニシテ  
臺類或ハ別段ノ器械ヲ要シ其取扱格別  
煩勞ノモノハ外國政府ノ八百七十一年十  
二月一日或ハ其前ヨリ必要臺類ノ詳載差  
出スヘシ以上ノ諸品ハ左ニ條セル日限ヲ以テ會  
場ニ渡スヘシ臺類ノ博覽會司ニ於テ決スル  
ト至其組立ハ持至或ハエゼントニテ致



或ハ費用ヲ出スヘシ

左ノ目次ノ通り日割ヲ以テ諸品ヲ送ルヘシ

金宿 三月一日 器械及ヒ未製品

土宿 全二日 學術新發明

月宿 全四日 木綿

火宿 全五日 声音ノ器機

水宿 全六日 紙類

木宿 全七日 油画水画

金宿 全八日 全

土宿 全九日 画類

月宿 全十日 建築雛形類

火宿 全十一日 敷物毛氈縫箔類

水宿 全十二日 彫刻石版写真類

木宿 全十三日 服飾類

金宿 全十四日 家賤服飾

月宿 全十五日 色付硝子



月宿 全二十五日 樂器

水宿 全二十七日 肖像

木宿 四月四日 宝玉但シ會司ヨリ前以テ

渡シ置ク小箱ニ納メ来ル

ハシ

外國政府物品ノ總高ヲ一時ニ送ラシマシ  
願フ代ハ前以テ其期日ヲ達スヘシ千八百七  
十一年ノ博覽會ニテ物品ノ渡シ方須ク嚴

密ニ致スヘキコトヲ知レリ

外國政府物品賣捌ノ為別ニ地方ヲ望ム  
モノハ博覽會司ノ定メル約條ニ隨ヒ別ニ  
附屬ノ樓ヲ建テシムヘシ



夕  
和  
本